

調達管理番号・案件名

25a00197_モンゴル国サイバーセキュリティ人材育成プロジェクト(実践訓練)

質問と回答は以下のとおりです。

2025年6月23日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	8	(3)直営専門家との実施体制	通訳の手配は直営専門家が行うとされているが、これに係る通訳の費用負担は受注者側とJICA側のどちらが負担することになるのか？(見積りに通訳費用を含める必要はあるのか。)	通訳は必要に応じてJICAプロジェクト側にて備上するため、本業務の見積りに通訳費用を計上する必要はありません。
2	8	(3)直営専門家との実施体制	仮に通訳の費用を受注者負担とする場合に、通訳の標準単価は存在するか。 なお、経理処理ガイドラインP25表8に通訳備上費の金額が記載されている。本件では、通訳備上費ではなく一般業務費の特殊備人費として計上を想定しているが、単価はこれと同額が上限額となるのか。	No.1での回答のとおり、通訳はJICAプロジェクト側で備上するため、本業務での見積りへの計上は不要です。
3	8	(1)訓練対象者と人数	各訓練時において、必要とされる通訳の人数は何人か。 例えば、受講者が計4チームで構成される場合、各チームに1名の通訳を配置する必要はあるのか。	通訳の配置人数についても、JICAプロジェクト側で検討、対応します。

以上